

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年11月11日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 鴨川グランドホテル

コード番号 9695 URL <http://www.kamogawagrandhotel.ne.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 健史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 四野宮 章

TEL 04-7094-5581

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	1,504	△23.6	△74	—	△92	—	△94	—
23年3月期第2四半期	1,968	△7.4	40	△15.8	22	377.3	△14	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△9.09	—
23年3月期第2四半期	△1.39	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	6,549	512	7.8	△8.42
23年3月期	6,669	604	9.1	0.38

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 512百万円 23年3月期 604百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,804	△5.5	△294	—	△364	—	△369	—	△35.35

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(その他)」に関する事項(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	10,453,920 株	23年3月期	10,453,920 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	16,349 株	23年3月期	16,349 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	10,437,571 株	23年3月期2Q	10,437,951 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—			
24年3月期(予想)			—	0.00	0.00

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の停滞を脱して回復しつつあるものの、欧州や米国経済の先行き不安や長引く円高により企業収益を圧迫するなど、景気については先行き不透明感が漂っております。

リゾートホテル業界におきましても、円高による海外旅行の増加はあるものの、国内旅行につきましても、西日本は総じて堅調であります。東日本は震災からの回復の遅れ、放射能汚染等の風評被害により依然として厳しい状況が続いております。

そのような状況の中で当社は、販売強化はもとより販管費の一層の合理化・効率化に努めてまいりましたが、主力事業所の立地が千葉・東京であり、当地域は東日本大震災により観光事業全体が風評被害等にて回復が遅れており、宿泊人員の大幅な減少、宿泊単価の下落等が続く厳しい環境となっております。

その結果、当第2四半期累計期間の営業収益は前期の閉鎖事業所も加わり 1,504 百万円と前年同四半期と比べ 464 百万円（23.6%）の減収となり、営業損失 74 百万円（前年同四半期は 40 百万円の利益）、経常損失 92 百万円（前年同四半期は 22 百万円の利益）、四半期純損失 94 百万円（前年同四半期は 14 百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ 120 百万円減少し、6,549 百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ 95 百万円増加し、550 百万円となりました。これは主に、現金及び預金が 72 百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ 215 百万円減少し、5,998 百万円となりました。これは主に、建物が 106 百万円、保険積立金が 80 百万円減少したことなどによるものであります。

流動負債は、前事業年度末に比べ 13 百万円減少し、5,113 百万円となりました。これは主に、買掛金が 19 百万円増加したものの、未払金が 16 百万円、その他（前受金）が 20 百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ 14 百万円減少し、924 百万円となりました。これは主に、長期預り保証金が 11 百万円減少したことなどによるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ 91 百万円減少し、512 百万円となりました。これは主に、四半期純損失 94 百万円の発生によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ 72 百万円増加し、317 百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により使用した資金は3百万円（前年同四半期は70百万円の使用）となりました。これは主に、減価償却費132百万円の非資金損益項目を計上したものの、税引前四半期純損失92百万円に、売上債権27百万円の増加及び前受金20百万円の減少があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により得られた資金は65百万円（前年同四半期は42百万円の収入）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出があったものの、その他の投資82百万円の回収による収入があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により得られた資金は10百万円（前年同四半期は121百万円の収入）となりました。これは、長期借入金の返済があったものの、短期借入による資金調達があったことによるものであります。

（3）業績予想に関する定性的情報

現時点における通期の業績予想につきましては、第2四半期累計期間における業績の進捗を勘案し、平成23年8月5日に公表いたしました業績予想を修正しております。

詳細は、平成23年11月7日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと比べ著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	244,329	317,021
受取手形及び売掛金	79,832	107,550
たな卸資産	53,440	49,711
未収入金	9,078	9,571
その他	68,202	66,945
貸倒引当金	△44	△58
流動資産合計	454,839	550,741
固定資産		
有形固定資産		
建物	12,401,185	12,400,426
減価償却累計額	△8,164,934	△8,270,433
建物(純額)	4,236,250	4,129,993
構築物	531,508	531,508
減価償却累計額	△464,327	△467,446
構築物(純額)	67,181	64,062
機械及び装置	266,608	267,002
減価償却累計額	△236,121	△237,005
機械及び装置(純額)	30,486	29,996
車両運搬具	59,079	45,409
減価償却累計額	△50,985	△38,732
車両運搬具(純額)	8,094	6,677
工具、器具及び備品	983,435	986,345
減価償却累計額	△879,749	△889,586
工具、器具及び備品(純額)	103,686	96,759
土地	1,087,858	1,087,858
リース資産	62,050	62,050
減価償却累計額	△16,718	△23,056
リース資産(純額)	45,331	38,993
有形固定資産合計	5,578,889	5,454,339
無形固定資産	37,537	34,931
投資その他の資産		
投資有価証券	74,542	80,265
差入保証金	255,491	246,577
保険積立金	224,543	143,595
その他	50,004	45,544
貸倒引当金	△6,333	△6,508
投資その他の資産合計	598,248	509,475
固定資産合計	6,214,675	5,998,746
資産合計	6,669,514	6,549,488

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	74,148	93,455
短期借入金	3,998,150	4,024,541
1年内返済予定の長期借入金	701,358	679,573
未払金	30,511	13,627
未払費用	169,350	168,912
未払法人税等	12,852	8,066
未払消費税等	7,294	8,421
その他	133,412	116,699
流動負債合計	5,127,078	5,113,298
固定負債		
長期借入金	100,007	106,256
退職給付引当金	161,319	159,637
役員退職慰労引当金	17,791	17,791
長期預り保証金	608,965	597,265
その他	50,339	43,107
固定負債合計	938,422	924,057
負債合計	6,065,500	6,037,356
純資産の部		
株主資本		
資本金	626,761	626,761
資本剰余金	498,588	498,588
利益剰余金	△512,398	△607,233
自己株式	△3,568	△3,568
株主資本合計	609,382	514,547
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△5,368	△2,415
評価・換算差額等合計	△5,368	△2,415
純資産合計	604,013	512,131
負債純資産合計	6,669,514	6,549,488

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業収益	1,968,769	1,504,121
営業費用	1,928,510	1,578,998
営業利益又は営業損失 (△)	40,258	△74,876
営業外収益		
保険配当金	11,904	—
助成金収入	—	23,321
その他	20,535	10,875
営業外収益合計	32,439	34,197
営業外費用		
支払利息	50,019	51,123
その他	645	258
営業外費用合計	50,664	51,381
経常利益又は経常損失 (△)	22,034	△92,061
特別損失		
固定資産除売却損	1,022	522
退職給付制度改定損	31,103	—
特別損失合計	32,126	522
税引前四半期純損失 (△)	△10,092	△92,583
法人税、住民税及び事業税	4,421	4,262
法人税等調整額	—	△2,010
法人税等合計	4,421	2,252
四半期純損失 (△)	△14,513	△94,835

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失 (△)	△10,092	△92,583
減価償却費	135,042	132,363
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△15	188
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△191	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	11,847	△1,681
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△28,875	—
受取利息及び受取配当金	△689	△703
支払利息	50,019	51,123
固定資産除売却損益 (△は益)	1,022	827
退職給付制度改定損	31,103	—
売上債権の増減額 (△は増加)	24,309	△27,894
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△578	3,729
前払費用の増減額 (△は増加)	△4,611	△3,497
未収入金の増減額 (△は増加)	△21,425	△492
仕入債務の増減額 (△は減少)	28,868	19,306
未払金の増減額 (△は減少)	△219,259	△4,354
未払費用の増減額 (△は減少)	5,466	△1,100
未払消費税等の増減額 (△は減少)	12,415	1,127
前受金の増減額 (△は減少)	△21,375	△20,493
預り金の増減額 (△は減少)	△1,501	4,264
預り保証金の増減額 (△は減少)	△10,570	△11,700
その他	3,765	5,221
小計	△15,323	53,651
利息及び配当金の受取額	489	487
利息の支払額	△46,354	△48,940
法人税等の支払額	△9,663	△8,877
営業活動によるキャッシュ・フロー	△70,851	△3,678
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△26,377	△25,484
投資有価証券の取得による支出	△599	△599
差入保証金の差入による支出	△663	—
差入保証金の回収による収入	24,075	8,885
その他の支出	△1,783	△226
その他の収入	47,622	82,939
投資活動によるキャッシュ・フロー	42,273	65,514

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）	当第2四半期累計期間 （自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	—	26,391
長期借入れによる収入	143,750	—
長期借入金の返済による支出	△22,063	△15,535
財務活動によるキャッシュ・フロー	121,687	10,856
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	93,108	72,692
現金及び現金同等物の期首残高	261,290	244,329
現金及び現金同等物の四半期末残高	354,399	317,021

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

I 前第2四半期累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損益 計算書 計上額 (注3)
	ホテル関連	リゾート 関連	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	1,529,100	317,130	1,846,231	122,538	1,968,769	—	1,968,769
セグメント利益又は損失(△)	70,004	18,061	88,066	△5,028	83,038	△42,779	40,258

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リネン事業、清掃事業及びレストラン事業を含んでおります。

2 セグメント損失の調整額△42,779千円は、各報告セグメントに配分していない本社部門の費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損益 計算書 計上額 (注3)
	ホテル関連	リゾート 関連	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	1,171,657	272,596	1,444,253	59,868	1,504,121	—	1,504,121
セグメント利益又は損失(△)	△44,954	18,690	△26,264	△15,564	△41,828	△33,048	△74,876

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リネン事業及び清掃事業等を含んでおります。

2 セグメント損失の調整額△33,048千円は、各報告セグメントに配分していない本社部門の費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。